

小規模事業者

経済動向調査報告書

<那珂市>

2025年7月～9月期

那珂市商工会

1. 目的

那珂市内の小規模事業者の景気動向等を分析し、その詳細な実態を把握し、市内小規模事業者に開示することで、経営に活用していただく。

2. 方法

市内の製造業、建設業、小売業（卸売業を含む）及びサービス業の小規模事業者から14社をサンプルとして選出し、聞き取り調査を行う。

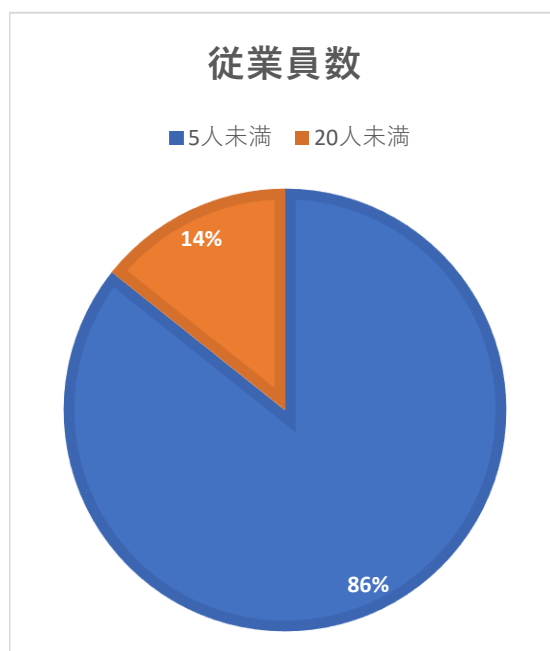
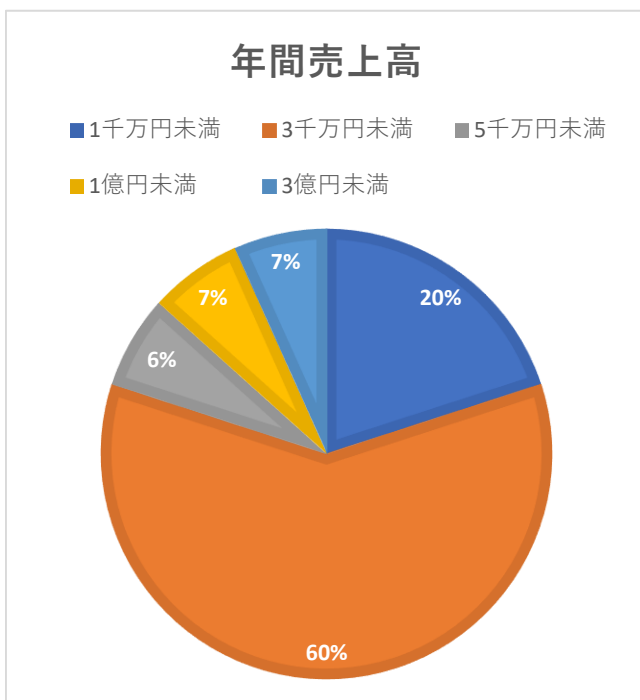
3. 調査事業者

- | | |
|---------------|----|
| ① 製造業 | 3社 |
| ② 建設業 | 2社 |
| ③ 小売業（卸売業を含む） | 3社 |
| ④ サービス業 | 6社 |

4. 調査項目

- ① 売上高、販売単価、経常利益、資金繰り、人材確保及び景況感を聴取し、業種別に比較。
- ② 近年の物価高の影響と対策について聴取し、業種別に比較するなど分析。
- ③ 国の補助金制度及び商工会の支援についての認知及び活用状況を調査。

5. 事業者の規模



I. DI分析

表1：2025年7月～9月のDI

	合計	製造業	建設業	小売業	サービス業
売上高	-40.0%	-100.0%	-50.0%	-50.0%	0.0%
販売単価	-13.3%	-33.3%	0.0%	-50.0%	16.7%
経常利益	-26.7%	-66.7%	-100.0%	-25.0%	16.7%
資金繰り	-13.3%	0.0%	0.0%	-25.0%	-16.7%
人材確保	-13.3%	-33.3%	-50.0%	0.0%	0.0%
景況感	-40.0%	-33.3%	-100.0%	-50.0%	-16.7%

- 前回（2025年4月～6月）と比較すると、全体的に売上高と経常利益が悪化している様子が窺える。
- 特に、製造業と建設業が顕著であり、製造業では売上高が急激に悪化しており、一方で建設業は前回から引き続きの悪化であり緩やかに悪化させている様子が窺える。
- 小売業及びサービス業については、状況は変わらずだが、小売業は少しずつ回復の兆しも見え始めている。一方、サービス業は改善状況も落ち着いてきている様子が窺える。

DI（業況判断指数）

景気局面の判断や、予測と景気転換点の判断に利用される景気動向指標のひとつ。業況下や景況感といった明確に数値化しにくい対象を、比較化することで景況を判定する。

「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものをパーセンテージで表し、プラスは良好、マイナスは悪化として、その度合いで判定する。

II. 物価高騰の影響調査

図1 2025年7月～9月の仕入価格の高騰状況

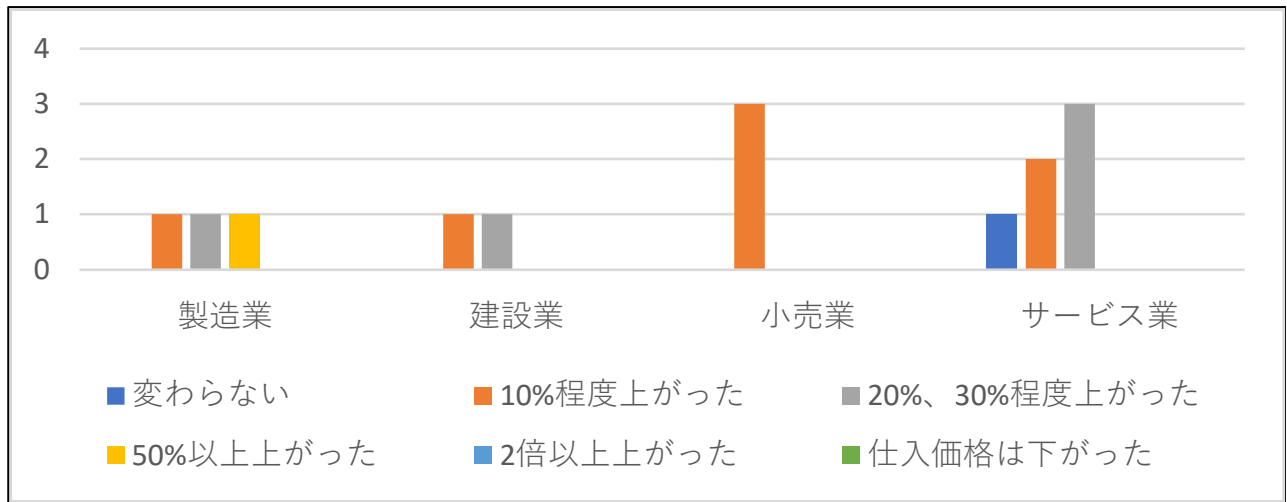


図2 2025年7月～9月の販売価格値上げ状況

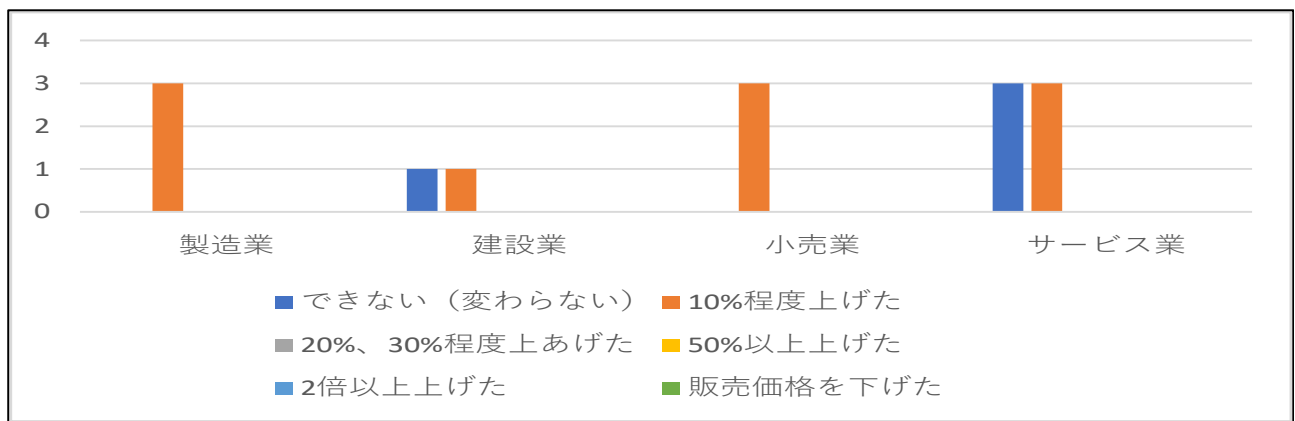
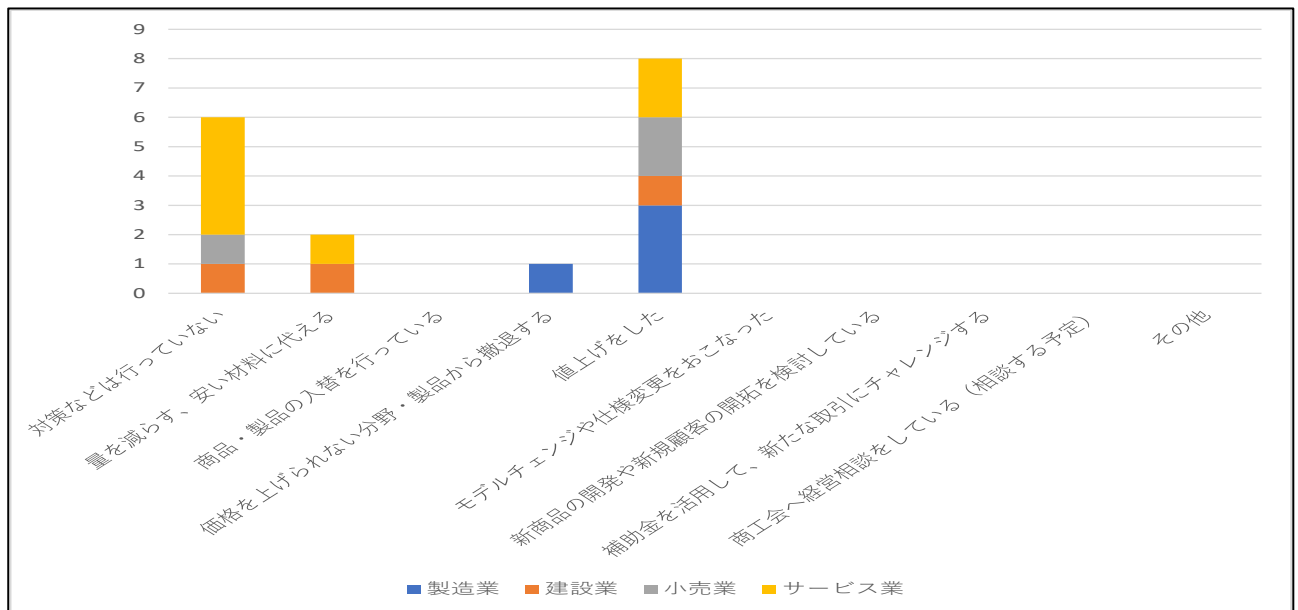


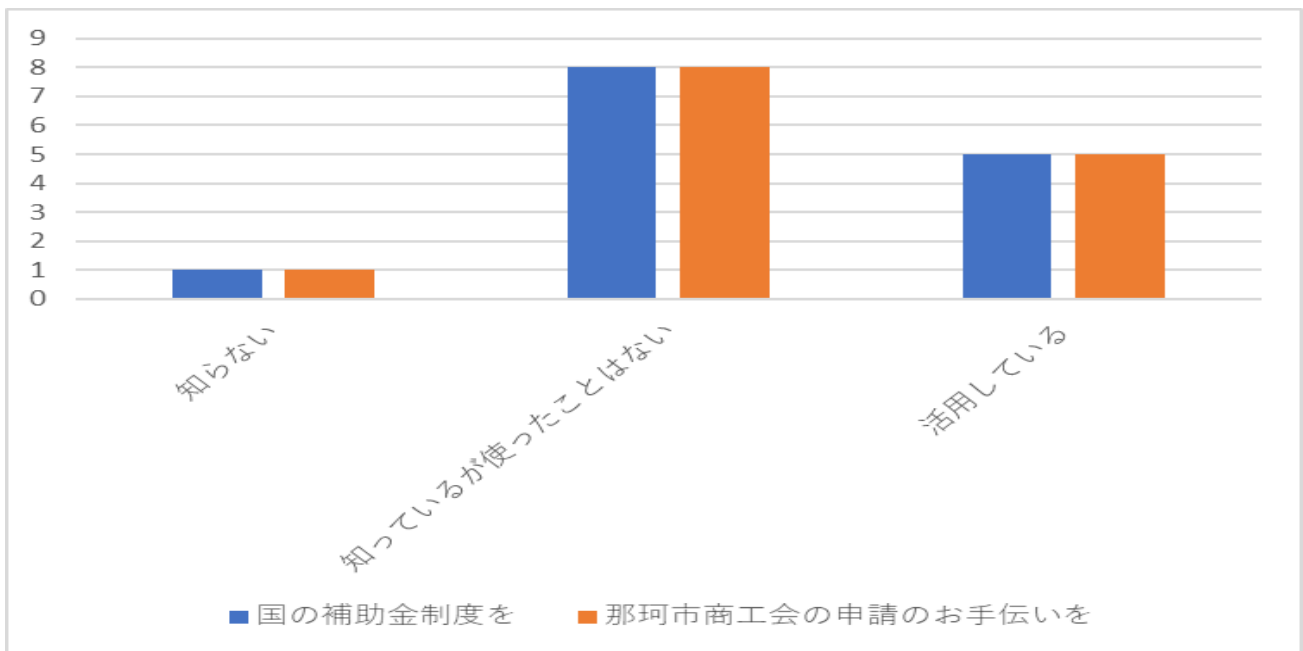
図3 2025年7月～9月の物価対策



- 仕入価格の高騰については、製造業、建設業、小売業において、相変わらずの状況だが、サービス業については、徐々に改善してきている。
- その影響もあり、サービス業においては、値上げも減少しており、未対策が増えている。ただし、まだ他業種に比べ仕入価格の高騰は顕著であるため、油断はできない。
- 一方で、製造業においては、すべての企業で値上げに踏み切っており、また値上げができない場合は、撤退に踏み切っている企業まで現れている。DI 値でも確認したように、製造業の業績悪化が顕著であるため、積極的に取り組んでいる様子がみてとれる。
- 小売業においては、仕入価格高騰に値上げで対抗しているが、売上高低下を脱しきれず、厳しい状況が続いている。ただし、経常利益に関しては、徐々に回復に向かっていているようにも見える。

III. 国の補助金制度の活用

図 4 国の補助金制度及び商工会支援についての活用状況



- 国の補助金制度や商工会によるその申請支援については、ほぼ周知されている様子が窺える。
- ただし、活用している企業はその約3分の1である。残り3分の2は存在を知っているが、活用には至っていないようだ。
- また、補助金を活用している企業数と商工会の支援を受けている企業数がほぼ同数であり、商工会の支援をうまく活用して補助金を獲得、活用している様子が窺える。

以上